



面白横浜浮世絵	p. 1
お知らせ/講座・講演会/創立 90 周年事業	p. 2
ボランティア講座/テーマ展示/おはなし会	p. 3
図書館ボランティア紹介 第2回緑図書館/ @Libミニブックリスト(38)「横浜真葛焼」	p. 4
ホームページ http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/	2012年1月号

平成23年6月、横浜市立図書館は、創立90周年を迎えました。

面白横浜浮世絵

「横浜浮世絵」は幕末から明治にかけて開港後の横浜の風景や風俗を描いたものです。そこからは外国の文化を当時の人々が驚きをもって受けとめたことや、日本の文化が外国の影響を受けて変化していく様子がうかがえます。

今回は、開港当時に描かれた「横浜浮世絵」の中から、《遊び》をテーマにした“面白横浜浮世絵”をご紹介します。



「中天竺船来之かるわざ 横浜の地に於みて興行之図」芳虎 1864

1864 (元治元年)、リズリーサーカス一座が横浜の居留地で興行しました。右側の人物は鞆に乗って、4つの剣を投げては受け取る技を披露しています。



「五人十身の働」一鵬斎芳藤 1861

おもちゃ絵を得意にして「おもちゃ芳藤」と言われた画家の絵。5人しか描いていないのに10人に見える「異(かわ)り絵」です。



「ヨコ羽万けん 流行けん 同かへうた」品川屋久助 1860

流行^{けん}拳の替え歌で歌舞伎のパロディーになっています。遊女^{かつらぎ}葛城をめぐり名古屋^{なごや}さん^{さん}さ^{さん} ふわ^ふばん^わざ^んえ^んもん^{けん} けん^{けん} 山三と不破伴左衛門が剣に代わって拳で勝負しています。

中央図書館では、所蔵する横浜浮世絵の中から、《遊び》をテーマに、双六・しりとり、どんたく、軽業・見世物、横浜拳など、見て面白い浮世絵の展示会を開催します。また、会場では、今回展示する浮世絵の図案を使って作成したパズルやクイズをお楽しみいただけます。この機会にぜひ、中央図書館へ足をお運びください。

<開催概要>

面白横浜浮世絵展

[期間]1月4日(水)～1月23日(月) [会場]中央図書館1階展示コーナー